

「ちょっと新しいメンマ」で竹林と食卓をつなぐメンマチョプロジェクト
Makuakeにて実施中のクラウドファンディング24時間で65万円(250%+)を達成しました！！
ストレッチゴール150万円の達成を目指します。

「地域の未来につみあげるプロダクト」をコンセプトに商品開発を行うDOLs（Hinel運営・西条市起業型地域おこし協力隊）は、**放置竹林を生かした乳酸発酵生メンマ「メンマチョ」**を株式会社マクアケ運営のクラウドファンディングサイト「MAKUAKE」にて先行発売を開始し、目標額を達成しました。

プロジェクト 活動レポート **NEW!** 応援コメント 42 ♡ 気になる



「ちょっと新しいメンマ」で竹林と食卓をつなぐメンマチョプロジェクト始動！

◆ メンマチョプロジェクトについて

「**ちょっと新しいメンマ**」の開発を通して、**放置竹林問題に誰もが気軽に参加し、そして楽しく美味しく解決することを目指す「メンマチョプロジェクト」**。放置竹林という背景をシリアス過ぎずキャッチーに、そして、力強く社会に伝えていくため、**マッチョな覆面ヒーロー「メンマチョ」**に現場の想いを託し”ちょっと新しいメンマ”を開発しました。

- 商品情報：市内の竹林整備の一環で収穫した「若竹」を使用し、地元の加工場で製造しています
[味付けメンマ]わたしの瀬戸内レモン●内容量：95g / [調理用生メンマ]3種類●内容量：90g (NET)
- プロジェクトKPI：「3年後に10種類のメンマチョを各地の竹林整備を行う皆様と一緒に商品化」すること
単地域での製造を効率的に増やすことではなく地域課題に参加できる余白を残すとともに、現在各地で製造が見られるようになった国産メンマの生産団体等と現場間のネットワーク構築も並行して進めて参ります。

◆ ストレッチゴールについて

ストレッチゴール150万円達成時には、下記3つの中から**「最も投票数[※]の多かった挑戦」**を実行者が行い、プロジェクトをより前に進めて参ります。 ※投票数はリターンに付随する「実行者の挑戦への投票権」により決まります

- 【01：京都の料亭を訪ねる】「放置竹林から出来たメンマ」は老舗料亭で通用するのか
- 【02：県知事に提案】「県内だけのこ食べるデー」の制定により県内の筍は何本消費されるのか
- 【03：農林水産省にプレゼン】放置竹林の解決に「メンマチョプロジェクト」は有効か

◆ クラウドファンディング概要

- プロジェクト名：「ちょっと新しいメンマ」で竹林と食卓をつなぐメンマチョプロジェクト始動！
- 期間：2021年3月5日（金）～4月12日（金）18:00 ※予定 ●目標金額：250,000円
- プロジェクトURL：<https://www.makuake.com/project/hinel/>



- ◆ 問い合わせ Hinel代表 山中裕加(TEL:050-5375-6990/Email:info@hinel-with.me) 愛媛県松山市出身。株式会社スピークにて建築デザインや不動産企画・運営管理等を行った後、2018年に独立。都内でデベロッパー向けのコンテンツ企画業務を軸に事業を行う。2019年5月より**愛媛県西条市のローカルベンチャー醸造・育成事業** (Next Commons Lab西条 / 西条市地域おこし協力隊)に参加し、地域と人をつなぐための企画や場所づくりを行う。
- ◆ Hinel HP <https://www.hinel-with.me/>
- ◆ Instagram([@defending_our_locals](https://www.instagram.com/defending_our_locals/))https://www.instagram.com/defending_our_locals/